

令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・事業所の特徴	社会福祉法人 秀峰会 小規模多機能型居宅介護 さざんか 2023年4月に開所してます。 ご利用者様にとって、さざんかを利用して良かったと思えて頂けるような支援をしていきます。					
事業所名 (緑 区)	小規模多機能型居宅介護さざんか	管理者	早瀬 清							
出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
				1人		1人	1人	2人		5人
項 目	前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果		意見		今回の改善計画			
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の改善点で出来ていない、理解されていない点を重点的に絞って研修やミーティングで伝えていく。		自己評価の改善で出来なかった点に重点的に研修やミーティング等で伝えて改善は見られた。		開所して間もないので決め事が曖昧な点も事業所として改善していったほしい。		自己評価の改善点に関しては継続的に研修やミーティングで小規模多機能の求められていることに関して理解を深めていく。			
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内の環境と外観の整備は継続して定期的に確認して環境整備していく。		環境整備に関しては開所して2年の為、設備の経年劣化や不具合は今の所はない。ただしご利用者様や職員の事故やけが防止のため、不具合があれば適宜、職員と話して環境整備、修理していく。		環境が原因で事故や怪我に繋がらないように定期的に点検してください。		定期点検を継続して安全な環境整備をしていく。			
C. 事業所と地域のかかわり	昨年は開所一年目という事もあり、地域行事には盆踊り大会のみの参加となっていました。今後は地域交流を増やせるように地域包括の活動や自治会にも入らせて頂き参加していく。		地域行事には参加できていないこともあるが、包括主催の地域ケア会議や研修に参加、地域の障害者事業所との交流等行っており、今後も参加可能な行事や催し物があれば参加していく。		来年は地域行事も再開していくので参加可能であれば参加していったほしい。		地域町内の方へのアプローチの機会を増やしたいと考えおり、事業所として地域との関りを増やしていきたい			
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	継続して民生委員や包括所職員さんと連携して可能な地域への関りをしていく。		さざんかのご利用者様が対象となった地域ケア会議に参加したりして、さざんかでの対応を報告、確認して頂いている。		可能な限り地域の体操や交流会に参加していた。今後も継続して参加してほしい。		今年以上に地域の交流イベントだけでなく、地域の病院や床屋やスーパーでの買い物など地域に出向いて暮らしを支えていく。			
E. 運営推進会議を活かした取組み	継続してご利用者様の利用状況を中心に情報共有し、地域から信頼されるような施設運営をしていく。		運営推進では小規模多機能の運営の説明と現状のサービス内容をお伝えしている。その中で貴重な意見を頂いた際には改善や参考意見として反映させた。		利用者様を職員の担当制にして、サービスの質やご利用者様の様子をより観察する事でご利用者様に合わせたケアを行っている。		他の事業所の方から、施設でのサービスの質向上の意見を頂き、その仕組みを取り入れていきたい。			
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災訓練は2回行った。執行継続の為にBCP活動を行っていききたい。		年2回の消防訓練は行えた。BCP委員会を立ちあげて、震度7クラスの災害が起きた場合の事業所としての動きを話し合いをした。		BCP活動を継続して頂きたい。		引き続き事業所の防災訓練とBCP活動をおこない、その中で発生した課題に取り組んでいく。			